

2024年6月例会報告書

テーマ； 『両国界隈街歩きとシニアランチ』

開催日時；6月26日(水) 両国駅西口9:30 集合の予定が、列車遅延あり30分遅れでスタート。

参加者；15名(敬称略) 細越、内田、角田、小高、矢口、高田、小池、後藤、泉、小川啓、松崎、永瀬、宮崎、
主幹事；小川俊成、副幹事；石村

両国界隈は下町情緒のあふれる歴史の街でもあります、街歩きは下記の行程で進められました。

【すみだ北斎美術館】 両国駅東口から徒歩9分、近代的でアートな建物が特徴。

北斎はすみだの地で生まれ、おおよそ90年の生涯の殆どを過ごしており、美術館は文化振興の狙いを持ってこの地に建てられたようです(平成28年11月開館)。北斎の作品が、身近なところでいつでも見れるというのは本当に有難いもので、その中でも「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」は、完成度の高い秀逸の作品であることを改めて感じました。

〔ランチ〕

両国第一ホテルの最上階25階の日本料理「さくら」からの眺望は眼下に隅田川の流れがあり、スカイツリーが間近に見え、遠く東京湾も見渡せる見晴しのよい場所でした。食事は豪華メニューで65歳以上はランチビュッフェにシニア割引があり、デザート類も豊富で堪能しました。

〔東京都 慰霊堂&復興記念館〕 両国駅からは徒歩7分

1923年(大正12)の関東大震災で亡くなった方々と、第二次世界大戦には東京大空襲で亡くなった10万人の慰霊を追悼する施設です。昭和6年に建てられ、平成29年に改修されています。

〔旧安田庭園〕 両国駅からは徒歩5分。

江戸元禄年間に大名庭園として築造され、その後、潮入り回遊式として整備され、明治に入り安田財閥の祖である安田善次郎の所有となった。現在は墨田区が管理している。かつて池の水には、東京湾の潮の満ち引きを利用し眺めの変化を鑑賞する庭園であった。



◀集合写真



▲相撲やぐら

〔相撲博物館〕

国技館内にあるこじんまりした博物館で、展示室が1室のため常設展示ではなく、年3回の展示替えをおこなっている。横綱土俵入りの型である「雲龍型と不知火型」の綱が展示されていた。また往年の横綱が使用した綱の展示もあり、さらに横綱 曙の化粧廻し、等々の興味深い展示物が飾られていました。お土産・グッズなどの販売は国技館サービス売店で行っている。開館日等は事前チェックが要。

*両国駅の旧駅舎はリニューアル後に、原寸大の土俵が設置されている。ここが最終の訪問地となり、14時過ぎに無事解散となった。
(文・写真 小川啓介)